

トマトキバガに登録のある農薬一覧(令和8年3月30日時点)

農薬の名称	登録の有無		IRAC コード ※2	農薬の種類	使用時期	希釈倍数 /使用量	使用 方法	使用 回数
	トマト	ミニトマト						
ディアナ SC	○	○	5	スピネラム水和剤	収穫前日まで	2500～ 5000 倍	散布	2回 以内
ラディアント SC	○	○		スピネラム水和剤	収穫前日まで	2500～ 5000 倍	散布	2回 以内
ダブルシューターSE	○	○		脂肪酸グリセリド・ スピノサト水和剤	収穫前日まで	1000 倍	散布	2回 以内
アフアーム乳剤	○	○	6	エマメクチン安息香 酸塩乳剤	収穫前日まで	2000 倍	散布	5回 以内
アグリメック	○	×		アバメクチン乳剤	収穫前日まで	500～ 1000 倍	散布	3回 以内
アニキ乳剤	○	○		レピメクチン乳剤	収穫前日まで	1000 倍	散布	3回 以内
エスマルク DF	○	○	11A	BT 水和剤	発生初期,但し 収穫前日まで	1000 倍	散布	—
ゼンターリ顆粒水和剤	○	○		BT 水和剤	発生初期,但し 収穫前日まで	1000 倍	散布	—
デルフィン顆粒水和剤	○	○		BT 水和剤	発生初期,但し 収穫前日まで	1000 倍	散布	—
チューレックス顆粒水和剤	○	○		BT 水和剤	発生初期,但し 収穫前日まで	1000 倍	散布	—
ジャックポット顆粒水和剤	○	○		BT 水和剤	発生初期,但し 収穫前日まで	1000 倍	散布	—
チューンアップ顆粒水和剤	○	○		BT 水和剤	発生初期,但し 収穫前日まで	2000 倍	散布	—
サブリーナフロアブル	○※1	○※1		BT 水和剤	発生初期収穫 前日まで	1000 倍	散布	—
コテツフロアブル	○	○	13	クロルフェナピル 水和剤	収穫前日まで	2000 倍	散布	3回 以内
トルネードエースDF	○	×	22A	インドキサカルブ 水和剤	収穫前日まで	2000 倍	散布	2回 以内
ファイントリム DF	○	×		インドキサカルブ 水和剤	収穫前日まで	2000 倍	散布	2回 以内
アクセルフロアブル	○	○	22B	メフルミゾン 水和剤	収穫前日まで	1000 倍	散布	3回 以内
プレバゾンフロアブル5	○	○		クロラントラニプロール 水和剤	収穫前日まで	2000 倍	散布	3回 以内
					育苗期後半～ 定植当日	100 倍	灌注	1回
ベネビア OD	○	○	28	シアントラニプロール 水和剤	収穫前日まで	2000 倍	散布	3回 以内
ベリマーク SC	○	○		シアントラニプロール 水和剤	育苗期後半～ 定植当日	400 株あ たり 25ml	灌注	1回
プリロソソ粒剤オメガ	○	○		シアントラニプロール 粒剤	育苗期後半～ 定植時	2g/株	株元 散布	1回
フェニックス顆粒水和剤	○	○		フルベンシアミド 水和剤	収穫前日まで	2000 倍	散布	2回 以内
ヨーバルフロアブル	○	○		テトラニプロール 水和剤	収穫前日まで	2500 倍	散布	3回 以内
グレーシア乳剤	○	○	30	フルキサメタミド乳剤	収穫前日まで	2000 倍	散布	2回 以内
プレオフロアブル	○	○	UN	ピリタリル水和剤	収穫前日まで	1000 倍	散布	2回 以内

※1 「野菜類(はくさいを除く)」で登録があるため使用可能。

※2 IRAC コードとは、殺虫剤の有効成分を作用点と作用機構から分類した番号や記号のことで、
本コードが異なる薬剤を使用することにより、同一系統の薬剤の連用を防ぐことができる。